

2007 年度

科目名	対象学科・学年 文学部全学科3回生 教育教福3回生	担当者
知的障害児の指導		小田 浩伸
授業テーマ 知的障害全般についての基礎理解と、障害の状態や特性に応じた指導の在り方について学ぶ。		
授業の概要と目標 知的障害のある児童生徒が自立し社会参加するために必要な知識や技能、態度とは何かについて考えていく。指導・支援を考えるに当たり、障害の状態や学習上の特性、行動や心理特性を踏まえた指導の内容の工夫が必要であり、加えて、環境条件を整備することによって、障害の状態はある程度改善されたり、知的発達の遅れがあまり目立たなくなったりする場合もある。これらのことを踏まえて、状況や実態等に応じた指導の在り方について理解を深める。		
評価方法 出席状況、レポート、授業内での試験等により総合的に評価する。		
テキスト 随時プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 必要に応じて適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
1. 知的障害とは	知的障害の概念、知的機能、適応行動	
2. 知的障害の特徴及び学習上の特性等	行動の特性、学習上の特性、コミュニケーション	
3. 障害の状態の把握	知的機能に関する検査、適応行動の困難性に関する調査等	
4. 就学指導の在り方	知的障害養護学校の対象、知的障害特殊学級の対象者、認定就学者の認定	
5. 知的障害養護学校の教育（1）	知的障害養護学校の教育課程・指導計画の特色、教科別の指導、領域別の指導	
6. 知的障害養護学校の教育（2）	日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習	
7. 知的障害特殊学級の教育（1）	学級運営、特別な教育課程、交流及び共同学習等、学級編成	
8. 知的障害特殊学級の教育（2）	学習内容の実際、教材・教具の工夫	
9. 個別の指導計画の作成と活用	個別の指導計画の Plan—Do—See サイクルの実際	
10. 指導の内容・方法（1）	身辺生活の処理、食事、用便、清潔、身の回りの整理、身だしなみ	
11. 指導の内容・方法（2）	あいさつ、感謝の気持ちや詫げる気持ち、集団参加と集団での役割	
12. 指導の内容・方法（3）	共同作業と役割分担、自己選択・自己決定、掃除、金銭の扱等	
13. 「実践アクセス講義」（ゲスト・ティーチャー）	知的障害のある子どもの子育て体験を聞く（保護者による講義等）	
14. 卒業後の進路・就労	就労、就労支援、ジョブコーチ、作業所等	
15. まとめ	環境条件・社会条件の整備等	